デジタルカメラ 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

形名	HDC-302SLIM		※お買い上げ日	保証期間
			平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所	〒　-		
	ご芳名	様		
※販売店	住所	〒　-		
	店名	TEL		

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
   （ニ）車輛、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
   （ホ）業務用に使用されて生じた故障または損傷。
   （ヘ）本書のご提示がない場合。
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合にはP115のご相談窓口にお問い合わせください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはP115のご相談窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このデジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後３年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03(3260)9611
FAX.03(3260)9739

Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。

取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

デジタルカメラ
HDC-302SLIM

このたびは、デジタルカメラ「HDC-302SLIM」をお求めいただき、まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

「とにかく使ってみる」という方へ
目次の1～6の手順でお試しください。

目次

はじめに

■ 安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次の内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 このような絵表示は、していただきたい「注意」内容です。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警　告

異常が起きたら、電池を外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

移動しながらの撮影は絶対にしない。
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの使用はしないでください。転倒、交通事故などの原因になります。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら電池を外す。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。落としたり、ケースが破損したときは使用しない。
火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

火に近づけたり、火の中に投げ込まない。
破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。または指定外の電池を使用しない。
電池の破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

⚠警　告

アルカリ電池に注意する。

アルカリ電池のアルカリ液が目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明やけがの原因になります。

電池を分解、加工、加熱しない。電池を落としたり、衝撃を加えない。
アルカリ電池は充電しない。
電池を金属製品と一緒に保管しない。

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

指定外の方法で電池を使用しない。

電池は極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

お子様の手の届かないところで使用・保管する。

乳幼児が誤って電池を飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

落下などにより、ストロボ部分が破損した場合は、内部には触れない。

内部が露出した場合は、絶対に手を触れないでください。感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

ストロボを人の目に近づけて発行しない。

目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。
特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。

⚠注　意

コネクタ（端子）部には、指定以外のものを接続しない。

火災・感電の原因になります。

大切な画像は、パソコンに取り込み保管する。

電池の消耗や故障・修理などにより、撮影した画像が消えることがあります。

飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない。

事故の原因になることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。

暖房器具の近く、ホットカーペットの上、窓を閉めきった自動車の中や、直接日光に当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

本製品の上にものを置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

ストロボの発光部を手や布で覆ったまま発光しない。

故障の原因になります。また、連続発光後は発光部に触らないでください。やけどの原因になる場合があります。

カメラをネックストラップで下げている場合は、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意する。

けがや本体の故障の原因になります。

■ あらかじめご承知頂きたいこと

免責事項

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
- 万一、本機または付属のソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリ内容の消去による、損害及び逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

商標について

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDロゴは登録商標です。
- QuickTimeは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeは、米国およびその他の国々で登録された商標です。
- その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™、®マークは明記しておりません。

■ 使用上のご注意

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0℃～40℃（結露しないこと）です。

急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本製品の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な撮影ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。
温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませてから、袋から取り出してください。
また、結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、電池、SDメモリーカード（使用時）をカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、お使いください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、画像が正常に記録されていることを確認してください。
本パッケージに同梱の単4形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。
また、単4形マンガン乾電池は使用できません。
万一、このカメラやSDメモリーカード（使用時）などの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償については、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

データエラーについて

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。
  - 通信中にUSB／ビデオケーブルをはずした。
  - 記録、USB接続中に電池をはずした。
  - 消耗した電池を使用し続けた。
  - 電源オンの状態で、SDメモリーカードを出し入れした。
  - その他の異常動作
- 万一の誤消去や破損に備え、大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。

操作音について

撮影時などの各操作時には、電子音で各操作をおしらせします。この操作音のオン／オフや大きさを設定することはできません。

メンテナンスについて

- レンズ面がゴミなどで汚れていると、カメラの性能が十分に発揮できません。レンズ面の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを吹きとってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどで拭かないでください。本体の塗装がはげたり、変質する原因になります。

液晶モニターについて

- 液晶モニターは、**夜間や暗めの室内撮影時などにおいて、センサーから十分な明るさが確保されない場合は、見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。**その場合は、なるべく明るい場所へ移動して撮影してください。
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターにムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 液晶モニターは太陽や強い光が当たると、表示が黒くなることがありますが、故障ではありません。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤、白、青、緑の点が現われたままになる場合があります。これは故障ではありません。記録される画像には影響はありませんので安心してお使いください。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

SDメモリーカードについて

- 本機はSDメモリーカード（別売）を使用できます。（32/64/128/256/512MB対応）（株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコム、（株）アドテックのSDメモリーカードを推奨します。ご使用の場合は、**SDメモリーカードに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。**
- SDメモリーカードの種類によって、処理速度が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードは撮影や消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちる場合があります。定期的に**フォーマットする** P81 ことをおすすめします。
- 静電気、電気的ノイズ等により、記録したデータが消滅または破損することがありますので、大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。
- SDメモリーカードの接触面（コンタクトエリア）にゴミや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布などで、軽く拭いてください。

■ 商品概要

本製品は、315万画素CMOSイメージセンサー搭載による高画質はもちろん、スリムサイズを実現し、いつでもどこにでも持ち歩けるデジタルカメラです。
主な特長は以下の通りです。

主な特長

○ 約315万画素CMOSイメージセンサー搭載
○ 約800万画素（3264×2448ピクセル）の高画素モード搭載（PixelAmp機能） P67
○ 2.0型LTPS（※1）-TFTカラー液晶モニター搭載
○ 保存も安心の16MB内蔵フラッシュメモリ＆SDメモリーカードスロット搭載（※2） P33
○ PCレスを実現するコピー to SDカード機能 P76
○ テレビで見られる、見ながら撮れる、みんなで楽しめるビデオ出力端子付き P54
○ 季節の草花やメモ代わりに便利なマクロ撮影機能（約17cm〜約22cm） P42
○ 動画撮影機能 P44
○ 使い方広がるPCカメラ機能 P97
○ すぐに使えるオールインワンパッケージ

（※1）LTPS：低温ポリシリコン
（※2）SDメモリーカードは別売です。

■ 同梱品

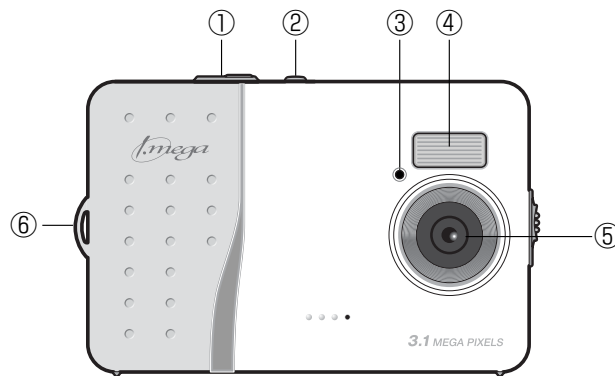
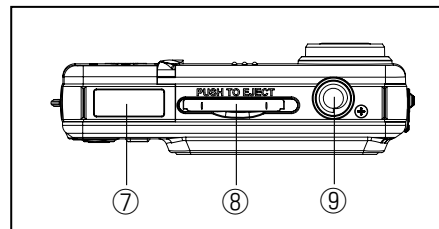
以下の通りカメラ本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

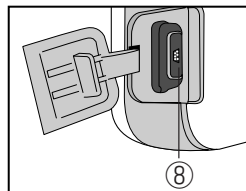
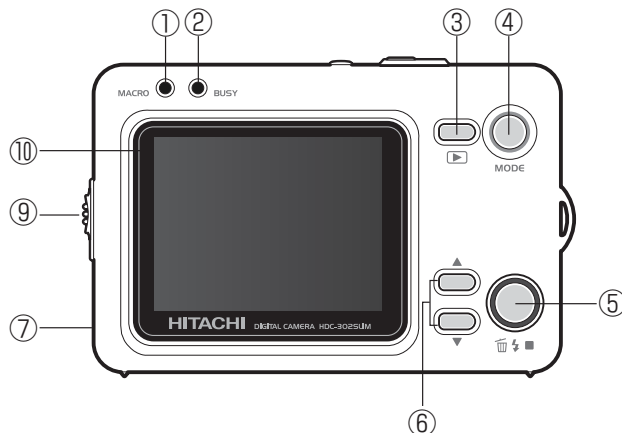
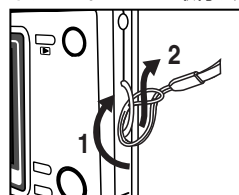
・カメラポーチ
・ネックストラップ
・専用USB／ビデオケーブル
・インストール用CD-ROM（PCカメラ専用）
・単4形アルカリ乾電池2本
・クリーナー（ペット型）
・取扱説明書（保証書付）

●SDメモリーカードは別売です。**SDメモリーカードを使う場合** **P33** **、SDメモリーカードについて** **P12**
●以降、この取扱説明書では、専用USB／ビデオケーブルをUSB／ビデオケーブルと表記します。

■ 各部の名称

正面

①シャッター
②電源スイッチ
③セルフタイマーランプ（レッド）
④ストロボ
⑤レンズ
⑥ネックストラップ取付部
⑦電池カバー
⑧SDメモリーカードスロット
⑨三脚ねじ穴

底面

背面

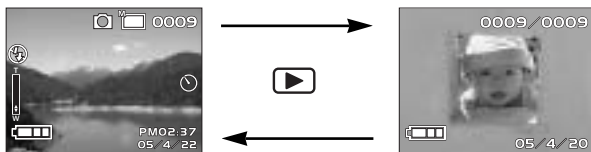
①MACRO（マクロ）ランプ（グリーン）
②BUSY（ビジー）ランプ（レッド）
③再生ボタン
④MODE（モード）ボタン
⑤セットボタン
⑥セレクトボタン
⑦インターフェースカバー
⑧USB端子
⑨撮影距離切替スイッチ
⑩液晶モニター

ネックストラップの取付け方

MODE（モード）ボタン

カメラの動作するモードを切り替える（モードセレクトメニュー P20 を表示させる）際に使用しますが、各モードによって複数の役割があります。

モード	MODE（モード）ボタンの役割
静止画撮影モード／動画撮影モード	モードセレクトメニュー P20 やクイックメニュー P64 を表示させる場合に使用します。 **モードセレクトメニューを表示させる場合は長押しします。クイックメニューを表示させる場合は、長押しする必要はありません。**
再生モード	モードセレクトメニューを表示させる場合 P20 や表示モードを切り替えたり P24 、インデックス再生をする場合 P48 に使用します。 **モードセレクトメニューを表示させる場合は長押しします。**
セットアップモード／パソコン接続モード	モードセレクトメニューを表示させる場合 P20 に使用します。

再生ボタン

静止画撮影モード／動画撮影モードの各モードから、再生モードに切り替える際に使用します。

〈静止画撮影モード〉　〈再生モード〉

動画撮影モード時も同様の操作で再生モードに切り替えます。

セレクトボタン

基本的には項目を選ぶ際に使用するボタンですが、各モードによって複数の役割があります。

モード	セレクトボタンの役割
静止画撮影モード	デジタルズームを調整する場合に使用します。P43
再生モード	再生したい画像を選ぶ場合や、動画再生時に再生を停止する場合 P49 に使用します。
セットアップモード／パソコン接続モード	各種設定の項目や設定内容を選ぶ場合に使用します。

セットボタン

基本的にはセレクトボタンで選んだ内容を決定する際に使用しますが、各モードによって複数の役割があります。

モード	セットボタンの役割
静止画撮影モード	ストロボモードを選ぶ場合に使用します。P40
再生モード	消去メニューを表示させる場合や、消去メニューで選んだ内容を決定する場合に使用します。
セットアップモード／パソコン接続モード	セレクトボタンで選んだ各種設定の項目や設定内容を決定する場合に使用します。

以降、この取扱説明書では、MODE（モード）ボタン、再生ボタン、セレクトボタン、セットボタンでの操作を次のように表記します。

- **MODE（モード）ボタン、再生ボタンを押す操作**
  → MODE、▶ を押す
- **セレクトボタン ▲ / ▼ 、セットボタン を押す操作**
  →【▲】、【▼】、【■】を押す
  →【▲】、【▼】で選ぶ

モードセレクトメニューについて

カメラの動作するモードを切り替える場合は、モードセレクトメニューを表示させ、以下の操作で切り替えます。

1 MODE

／／／／の各モードから、を長押しまたは押します。

静止画撮影モード／動画撮影モード／再生モードから操作する場合は、を長押しします。
セットアップモード／パソコン接続モードから操作する場合は、長押しする必要はありません。

モードセレクトメニューが表示されます。

2

【▲】【▼】でモードを選び、

【■】を押します。

選んだモードに切り替わります。

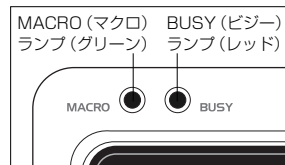
再生モード： 静止画／動画を再生したり、画像の消去を行うモードです。
静止画撮影モード： 静止画を撮影するモードです。
動画撮影モード： 動画を撮影するモードです。
セットアップモード： 撮影時の設定や日付／時刻などの各種設定、内蔵メモリからSDメモリーカードへの画像のコピーを行う P76 モードです。
パソコン接続モード： パソコンに接続するモードです。

MACRO（マクロ）ランプ（グリーン）

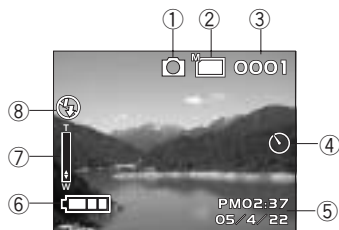
点灯：マクロモード時（撮影可能範囲約17cm～約22cm）
消灯：標準モード時（撮影可能範囲約120cm～∞）

MACRO（マクロ）ランプ（グリーン）が点灯している状態で撮影可能範囲外の撮影を行うと焦点が合わないのでご注意ください。

BUSY（ビジー）ランプ（レッド）

点灯：カメラ起動中／画像記録中など
点滅：ストロボ充電時など

以降、この取扱説明書では、MACRO（マクロ）ランプ（グリーン）、BUSY（ビジー）ランプ（レッド）をMACROランプ、BUSYランプと表記します。

■ 液晶モニターの表示

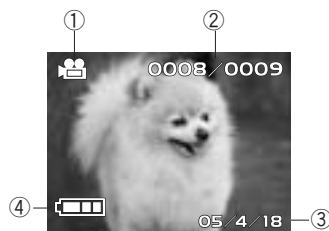
静止画撮影モード時　静止画を撮る P38

① 静止画撮影モードマーク
②メモリ残量
メモリ残量は十分です。
メモリ残量が少なくなっています。
まもなくメモリ残量がなくなります。
メモリ残量がありません。
（※SDメモリーカードをご使用の場合は、"M" は表示されません。）
③撮影画像枚数
④セルフタイマー P71
（※オフ時は非表示）
⑤日付／時刻 P29
⑥電池残量 P27
電池の残量は十分です。
電池の残量が少なくなっています。
まもなく電池の残量がなくなります。
電池の残量がありません。
⑦ズームバー P43
（※ズーム使用時のみ）
⑧ストロボモード P40
発光禁止モード
オートモード

静止画撮影モード時の液晶モニターの表示は〈通常表示〉／〈画像のみ〉を切り替えることができます。詳しくは**液晶モニターの表示を設定する** P74 をご覧ください。

動画撮影モード時　動画を撮る P44

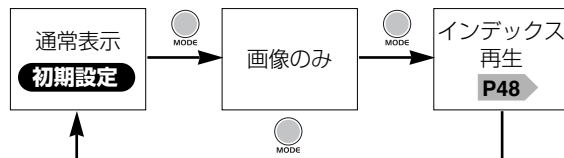
① 動画撮影モードマーク
②メモリ残量
③撮影画像枚数
④日付/時刻 P29
⑤電池残量 P27
⑥撮影中アイコン
⑦撮影秒数

動画撮影モード時の液晶モニターの表示は〈通常表示〉／〈画像のみ〉を切り替えることができます。詳しくは**液晶モニターの表示を設定する** P74 をご覧ください。

再生モード時　静止画／動画を見る P47

① 動画像マーク
（※動画像の場合のみ）
②画像ナンバー
現在表示されている
画像ナンバー／すべての画像数
③日付（撮影時）
④電池残量 P27

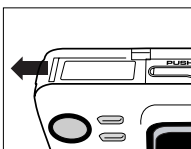
再生モード時の液晶モニターの表示切替については、**液晶モニターの表示切替について** P24 をご覧ください。

液晶モニターの表示切替について（再生モード時）

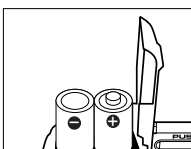
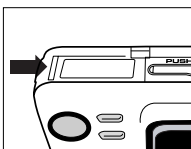
再生モード時の液晶モニターの表示は、MODEを押して切り替えることができます。

- 静止画撮影モード時／動画撮影モード時の液晶モニターの表示切替については、**液晶モニターの表示を設定する** P74 をご覧ください。
- ここで選んだ〈通常表示〉／〈画像のみ〉の設定は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P35 操作を行うと〈通常表示〉に戻ります。

基本操作編

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

準備する

■ 電池を入れる

電池カバーを矢印の方向へスライドさせて開きます。

2

＋と－のしるしにあわせて電池を入れます。

電池カバーを閉じます。

- 電池の交換は電源をオフにして行ってください。
- 電池カバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。
- 電池カバーを開閉する場合は電池が落下しないようにご注意ください。
- 本機は電源オフ時でも内部時計のバックアップ用として微電流が流れています。長時間使用しない場合は電池をはずして保管することをおすすめします。

使用できる電池

本機は単4形アルカリ乾電池以外に、単4形ニッケル水素電池を使用できます。（日立マクセル(株)HR-4SD推奨）
液晶モニターに表示される電池残量表示については、**電池残量の表示**をご覧ください。

- 単4形マンガン乾電池は使用できません。
- 本パッケージに同梱の単4形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。
- 同梱のアルカリ乾電池による電池寿命の目安（CIPA規格による撮影可能枚数 P113 ）は、約40枚です。
  より経済的にご使用になりたい場合は、市販の単4形ニッケル水素電池でのご使用をおすすめします。

電池残量の表示

電池の残量は十分です。

電池の残量が少なくなっています。

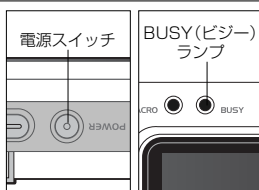
まもなく電池の残量がなくなります。
（この表示の場合は、ストロボの充電中に電源がオフになったり、また、**フォーマットする** P81 、**内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする** P76 場合など、正常に動作せず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなったり、記録されているデータが破損するおそれがありますので、新しい電池と交換することをおすすめします。）

電池の残量がありません。新しい電池と交換してください。

- 使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- 電池残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。

電池寿命の目安については、電池寿命の目安 P113 にてご確認ください。

■ 電源のオン／オフ

1

電源スイッチを押して、電源をオンにします。

BUSYランプが点灯し、静止画撮影モードで起動し、液晶モニターに映像が表示されます。

2 **電源スイッチを押して、電源をオフにします。**

電源スイッチを押す操作が短すぎると、電源がオン／オフしない場合があります。その場合は、再度操作をやり直してください。

オートパワーオフ機能について

電源オンのままで一切の操作を行わずにカメラを放置する（初期設定は［1分］ P62）と、節電のために自動的に電源がオフになります。再び使用するときは電源スイッチを操作して電源をオンにしてください。

- **パソコンとUSB接続している場合やスライドショー再生 P79 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。**
- **各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。**

■ 日付／時刻を合わせる

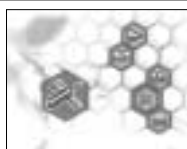
初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合などは内部時計がリセットされ、正しい日付／時刻が表示されない場合があります。
その場合や一度設定した内容を合わせ直す場合は、以下の手順で日付／時刻を設定してください。

- **電池交換時は必ず時計表示を確認してください。内部時計は約1分間バックアップしますが、電池の使用時間によっては、日付／時刻の設定をリセットする場合があります。**
- **ここで設定した日付／時刻は、電源をオフにした後や初期設定に戻す P35 操作を行っても保持されます。**

1

静止画撮影モードから、MODEを長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。

モードセレクトメニューについて P20

2

【▲】【▼】でセットアップモードを選び、

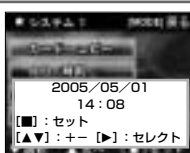
【■】を押します。

［システム1］メニューが表示されます。

3

【▼】で［日付／時刻］を選び、

【■】を押します。

4

「年」→「月」→「日」→「時」→「分」の順に【▲】、【▼】、▶を使ってあわせ、

すべて合わせたら【■】を押します。
［システム1］メニューに戻ります。

【▲】：数値をプラス（＋）
【▼】：数値をマイナス（−）
▶（［▶］）：数値の決定と項目の移動

■ 電源周波数（ヘルツ）を設定する

電源周波数は、各国、各地で異なります。室内撮影をする場合、蛍光灯などの影響を受ける可能性がありますので、国や地域にあった電源周波数で撮影することをおすすめします。

電波周波数のお買いあげ時の設定は［50Hz］が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

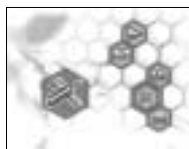
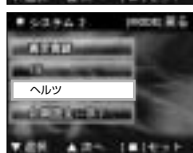
1

静止画撮影モードから、MODEを長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。
モードセレクトメニューについて P20

2

【▲】【▼】でセットアップモードを選び、

【■】を押します。
［システム1］メニューが表示されます。

3

【▲】で[システム2]メニューを表示させ、

【▼】で[ヘルツ]を選び、

【■】を押します。

4

【▲】【▼】で電源周波数（[60Hz]／[50Hz]）を選び、

【■】を押します。

選んだ内容を保持し、
[システム2]メニューに戻ります。

ここで選んだ電源周波数（ヘルツ）は、**初期設定に戻す** P35 操作や電源をオフにした後も保持されます。

■ SDメモリーカードを使う場合

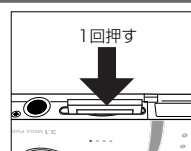
SDメモリーカードについて P12 をあわせてご覧ください。
本機はSDメモリーカード（別売）を使用することができます。
（32/64/128/256/512MB対応）
SDメモリーカードを使用しなくても撮影できます。
（内蔵16MBフラッシュメモリ搭載）
また**内蔵メモリ内の画像データをSDメモリーカードへコピーする** P76 こともできます。

- **撮影可能枚数・時間の目安については、画像記録枚数・時間／データサイズ** P113 **をご覧ください。**

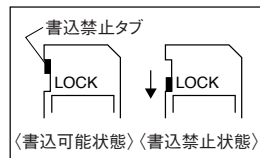
1

SDメモリーカードスロットにSDメモリーカードを挿入します。

SDメモリーカードは図の向きで「カチッ」と音がなるまで確実に差し込んでください。

2

SDメモリーカードを取り出す場合は、SDメモリーカードを1回押して取り出します。

- SDメモリーカードを使用（挿入）するとSDモリーカードが優先されます。SDメモリーカード使用時は、内蔵メモリに記録したり、内蔵メモリ内の画像を消去することはできません。
- SDメモリーカードを入れたり、取り出したりする場合は、必ず電源がオフの状態で行ってください。SDメモリーカードやSDメモリーカード内のデータが破損する原因になる場合があります。
- 他のデジタルカメラやパソコンでフォーマット（初期化）したSDメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。**フォーマットする** P81

SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）について

SDメモリーカードにはライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。
ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが、「LOCK」になっていると液晶モニターに（カードロックアイコン）が表示され、通常の撮影や消去ができません。

■ 初期設定に戻す

ご使用中に様々な設定をしてしまったなど、元の設定に戻したい場合は、以下の操作で各設定項目を初期設定に戻すことができます。

1

静止画撮影モードから、MODEを長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。
モードセレクトメニューについて P20

2

【▲】【▼】でセットアップモードを選び、

【■】を押します。
［システム1］メニューが表示されます。

3

【▲】で [システム2] メニューを表示させ、

【▼】で [初期設定に戻す] を選び、

【■】を押します。

4

【▲】【▼】で [OK] ／ [キャンセル] を選び、

【■】を押します。

[システム2]メニューに戻ります。

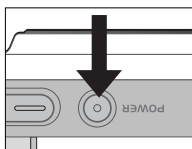
各項目の初期設定

設定項目	初期設定
画像サイズ P67	2048×1536（約315万画素）
画質 P67	ファイン
ホワイトバランス P70	オート A
露出補正 P73	±0
動画撮影時の画像サイズ P67	640×480
動画撮影時の画質 P67	ファイン
表示モード（撮影時） P74	通常表示
表示モード（再生時） P24	通常表示
日付プリント P75	オフ
オートパワーオフ P62	1分

表示言語、TV（テレビの方式）、ヘルツ（電波周波数）の項目は**初期設定に戻す**操作を行っても設定内容が優先され、初期設定には戻りません。

静止画／動画を撮る

■ 静止画を撮る

1

電源スイッチを押して、電源をオンにします。

静止画撮影モードで起動し、液晶モニターに映像が表示されます。

電源のオン／オフ P28

2

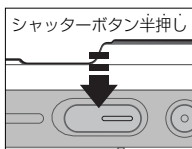
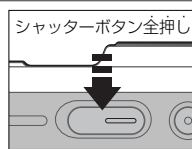
脇を締めて両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように構図を決めます。

両方の手でカメラを持ち、両手のひじは体につけ、カメラをしっかりと固定してください。

3

シャッターボタンを半押しします。

液晶モニターに**[　]**が表示されます。

4

シャッターボタン全押し

半押しのまま、被写体の中心を[　]にあわせ、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

- BUSYランプが点灯し、液晶モニターに⌛（画像記録中）アイコンを表示し、"ピッ"という音とBUSYランプの消灯で、撮影の完了をおしらせします。

- **BUSYランプの点灯中は、"画像記録中"のため、次の撮影はできません。**
- **撮影したあとに、BUSYランプが点滅している場合は、ストロボの充電中です。****ストロボを使う P40**
- **シャッターボタンを全押しして、すぐにカメラを動かすと画像がブレる原因になります。"画像記録中"の⌛の表示が終わるまで、カメラを固定してください。**

シャッターボタンの押し方

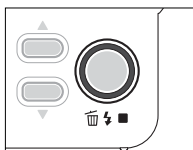
シャッターボタンは半押しと全押しの2段階で動作します。

①**半押し**（浅く押したとき）→液晶モニターに**[　]**を表示します。

②**全押し**（深く押したとき）→シャッターが切れます。

半押しで構図を確かめ、全押し時は指の腹でやさしく押してください。全押し時に力が入ると、カメラが下がり画像がブレる原因になります。

■ ストロボを使う

撮影状況、目的に応じてストロボの設定を選んでください。

1 静止画撮影モードで、【■】(ϟ)を繰り返し押して、ストロボモードを選びます。

- ストロボオートモードを選ぶと、BUSYランプが点滅し、ストロボの充電中をおしらせします。

ストロボの充電中は、液晶モニターは表示されません。

- ストロボの充電中に再度【■】を押すと、ストロボの充電を停止し、発光禁止モードに切り替わります。

発光禁止モード： ストロボは発光しません。**初期設定**
暗いところではシャッタースピードが遅くなり、手ブレが起こりやすくなりますので、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

Aϟ オートモード： 撮影環境に応じて自動的にストロボを発光します。

- ストロボによる連動範囲（推奨）は、標準モード時の撮影可能範囲と連動して、約1.2m〜約2.0mになります。この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。
- ここで選んだストロボモードは、再度電源を入れ直すと発光禁止モードに戻ります。
- 本機には強制ストロボモードは搭載しておりません。
- マクロモード時は、ストロボは発光しません。
- 電池残量がや の場合で、暗いところの撮影時にストロボが発光しない場合や、ストロボの充電中に電源がオフになる場合があります。その場合は、電池を交換することをおすすめします。
- ストロボの充電には約20秒程かかる場合があります。充電時間は使用状況や電池残量によって異なります。
- ストロボの充電中にシャッターボタンを押しても、撮影することはできません。

■ 近距離撮影をする(マクロ撮影)

マクロモードに設定して撮影すると、約17cm〜約22cmの近距離撮影が可能になります。

1

静止画撮影モードで、撮影距離切替スイッチを (マクロモード)に切り替えます。

MACROランプが点灯し、マクロモードが設定されたことをおしらせします。

マクロモード:
撮影可能範囲約17cm〜約22cm
標準モード:
撮影可能範囲約120cm〜∞

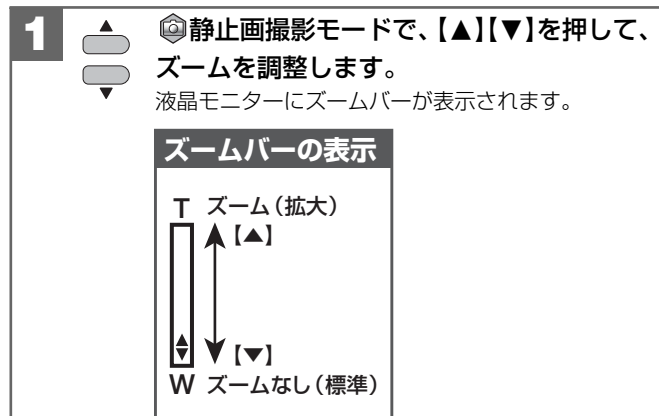
- マクロモードと標準モード以外の範囲では、焦点が合いにくい場合がありますので、撮影可能範囲での撮影をおすすめします。
- マクロモードに設定すると、ストロボは発光されません。

■ ズームを使う

被写体をズーム倍率4倍(デジタルズーム)で拡大して撮影できます。

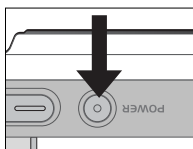
1

静止画撮影モードで、【▲】【▼】を押して、ズームを調整します。

液晶モニターにズームバーが表示されます。

- ここで選んだデジタルズームは、撮影後も有効ですが、モードを変更したり、再度電源を入れ直したりすると、ズームなし(標準)に戻ります。
- 動画撮影モード時や 再生モード時にはズームを利用することはできません。
- 撮影距離切替スイッチが (マクロモード)に設定されている場合は、ズームの調整はできません。
- デジタルズーム撮影は、デジタル処理で被写体を拡大して撮影するため、カメラ本来の画質性能を十分に発揮することはできません。

■ 動画を撮る

本機は動画（音声なし）を撮影できます。撮影した動画はカメラで再生することができます。

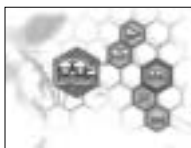
1

電源スイッチを押して、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P28

2

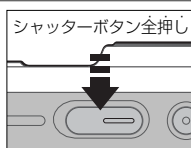
静止画撮影モードから、を長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。

モードセレクトメニューについて P20

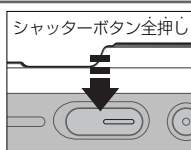
3

【▲】【▼】で動画撮影モードを選び、

【■】を押します。

液晶モニターに（動画撮影モードマーク）が表示され、動画撮影モードになります。

4

シャッターボタンを全押しします。

- 液晶モニターに撮影秒数と が表示され、撮影が開始されたことをおしらせします。

5

シャッターボタン全押し

撮影をストップするときは、シャッターボタンを全押しします。

動画撮影を停止します。

- **撮影に必要なメモリ残量がなくなると、撮影は自動的に停止します。**
- **ストロボ、セルフタイマー、ズーム撮影はできません。マクロモード P42 、ホワイトバランス P70 、露出補正 P73 の設定は動画撮影時も有効です。**
- **動画撮影時の画像サイズなどの各種設定は、クイックメニューで操作します。**
  詳しくは、**クイックメニューについて P64** 、**クイックメニューで設定可能な項目と表示 P66** をご覧ください。

動画ファイルについて

画像サイズ（記録画素数）	640×480ピクセル／ 320×240ピクセル
記録画像ファイルフォーマット	AVI（Motion JPEG、音声なし）
フレームレート	約30フレーム/秒
記録時間	内蔵16MBフラッシュメモリ時： 最大約74秒 SDメモリーカード64MB（別売）時： 最大約292秒

データサイズ、撮影時間はあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

- 動画ファイル（ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime3.0以上やWindows Media Player（※）などの記録画像ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。

（※）Windows Media Playerをお使いの場合は、動画ファイルを再生できない場合があります。
その場合は、コーデック（Compression/Decompressionの略で音声や動画の圧縮・伸張（再生）を行うための専用プログラム）が含まれるDirectX8.1などの、機能拡張ツールが必要です。

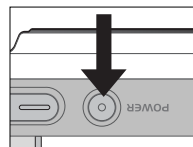
静止画／動画を見る

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。

1

電源スイッチを押して、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P28

2

静止画撮影モードから▶を押します。

最後に撮影された画像が表示されます。

- 再生モードへはモードセレクトメニューからも切り替えることができます。

3

【▲】【▼】で画像を選びます。

- 動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

インデックス再生をする場合は

液晶モニターに9分割で複数の画像を表示させることができます。
たくさんの画像を撮影した場合など、画像を選ぶのに便利です。

1

MODE
（2回押す）

シングル再生時に MODE を2度押します。

インデックス再生画面になります。

液晶モニターの表示切替について

P24

2

【▲】【▼】で画像を選びます。

3

MODE
または

MODE または【■】を押すと選んだ画像のシングル再生画面になります。

動画を再生する場合は

1

【▲】【▼】で再生したい動画像を選びます。

動画像には 🎥 が表示されます。

2

08
[シャッター] 一時停止
▲▼ 停止

シャッターボタンを押すと、再生をスタートし、液晶モニターに再生秒数を表示します。

3

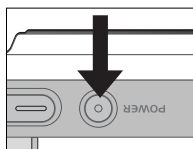
再生時に【▲】【▼】を押すと、再生を停止し最初の1フレーム表示に戻り、シャッターボタンを押すと一時停止します。

シャッターボタン： 再生スタート／一時停止
【▲】【▼】: 停止（最初の1フレーム表示に戻る）

基本操作編
静止画／動画を見る

画像を消去する

一度消去してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。消去を行うときは、本当に不要なファイルかどうかよく確かめてから行ってください。
特にすべての画像を消去する場合は、すべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。

1

電源スイッチを押して、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P28

2

静止画撮影モードから▶を押して、再生モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます。

- 再生モードへはモードセレクトメニューからも切り替えることができます。

3

【▲】【▼】で消去したい画像を表示させます。

4

【■】を押します。

[消去] メニューが表示されます。

5

【▼】で [一枚消去] を選び、

【■】を押します。

消去確認の画面が表示されます。

6

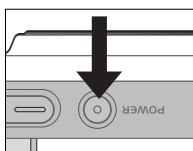
【▲】【▼】で [OK] ／ [キャンセル] を選び、

【■】を押します。

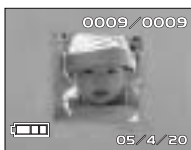
- [キャンセル] を選ぶと消去を中止して、再生モードに戻ります。続けて消去を行う場合は、再度【■】を押して [再生メニュー] から操作してください。

すべての画像を消去する場合は、**すべての画像を消去する場合** P52 の手順で操作してください。

すべての画像を消去する場合

1

電源スイッチを押して、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P28

2

静止画撮影モードからを押して、再生モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます。

- 再生モードへはモードセレクトメニューからも切り替えることができます。

3

【■】を押します。

［消去］メニューが表示されます。

4

【▼】で［全て消去］を選び、

【■】を押します。

消去確認の画面が表示されます。

- **この時点ではまだ消去されていません。**

5

【▲】【▼】で［OK］／［キャンセル］を選び、

【■】を押します。

- ［OK］を選ぶと､すべての画像が消去され、再生モードに戻り、「画像がありません」と表示されます。
- ［キャンセル］を選ぶと、再生メニューに戻ります。

テレビを使って再生／撮影する

同梱のUSB／ビデオケーブルを使用すると、テレビに画像を表示して通常の撮影や再生ができます。

テレビと接続する前に

テレビと接続する前に、テレビの方式を確認します。

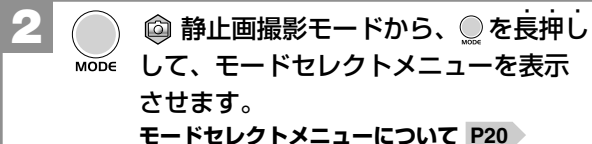
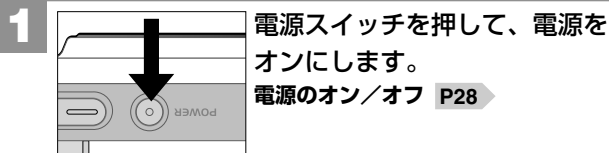
NTSC方式の主な国：**日本**、アメリカ、韓国、カナダなど
PAL方式の主な国　：イギリス、イタリア、スイス、スペイン、オーストラリア、オランダなど

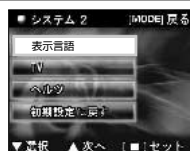
テレビの方式(ビデオモード)のお買い上げ時の設定は[NTSC]が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1 電源スイッチを押して、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P28

2 静止画撮影モードから、MODEを長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。

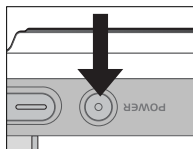
モードセレクトメニューについて P20

3 【▲】【▼】でセットアップモードを選び、

【■】を押します。
[システム1] メニューが表示されます。

4 【▲】で[システム2] メニューを表示させ、

【▼】で [TV] を選び、

【■】を押します。

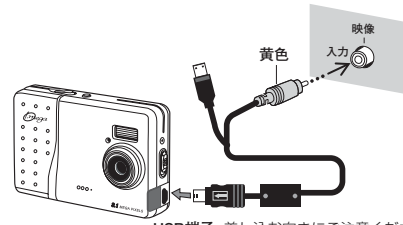
5 【▲】【▼】で [NTSC]／[PAL] を選び、

【■】を押します。
選んだ内容を保持し、[システム2] メニューに戻ります。

6 電源スイッチを押して、電源をオフにします。

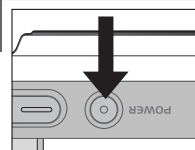
ここで選んだテレビの方式は、**初期設定に戻す** P35 操作や、電源をオフにした後も保持されます。

1 **テレビと接続する前に** P54 に従って、テレビの方式を確認し、カメラの電源をオフにします。

2 USB／ビデオケーブル（付属）のミニプラグ（小さい方）をカメラのUSB端子に差し込み、ピンプラグ（黄色）をテレビの映像入力端子に接続します。

〈テレビのビデオ映像端子〉

USB端子 差し込む向きにご注意ください。

3 テレビの電源をオンにして、テレビの入力切り替えをビデオ入力モードに切り替えます。

4

カメラの電源をオンにします。
テレビに静止画撮影モードの映像が表示されます。

テレビに接続しているときは、液晶モニターは表示されません。

5 再生する場合は▶を押して再生モードにします。

- USB／ビデオケーブルを接続したり、取り外すときは、必ずカメラとテレビの電源をオフにして行ってください。
- 接続した際は、USB／ビデオケーブルをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。

応用操作編

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。
応用操作編の各項の≪モード：≫の表記は、その項の機能や設定が使用できるモードを表しています。その項の機能や設定を行う場合は、動作モードをそのモードに合わせてご使用ください。

準備について

■ 表示言語を設定する

モード：

液晶モニターの表示言語は、以下の言語から選ぶことができます。

日本語
English（英語）
中文（中国語）
Francais（フランス語）
Deutsch（ドイツ語）
Italiano（イタリア語）
Español（スペイン語）

表示言語のお買い上げ時の設定は［日本語］が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1

MODE

静止画撮影モードから、を長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。

モードセレクトメニューについて P20

2

【▲】【▼】で セットアップモードを選び、

【■】を押します。

［システム1］メニューが表示されます。

3

【▲】で［システム2］メニューを表示させ、
【▼】で［表示言語］を選び、

【■】を押します。

4

【▲】【▼】で設定したい表示言語を選び、

【■】を押します。

選んだ内容を保持し、
［システム2］メニューに戻ります。

ここで選んだ表示言語は、**初期設定に戻す** P35 操作や電源をオフにした後も保持されます。

■ オートパワーオフの時間を設定する モード：

オートパワーオフの時間（5分／1分 **初期設定** ／切）を設定できます。
オートパワーオフ機能について P28

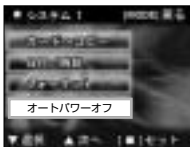
1

静止画撮影モードから、 を長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。
モードセレクトメニューについて P20

2

【▲】【▼】で セットアップモードを選び、

【■】を押します。
［システム1］メニューが表示されます。

3

【▼】で［オートパワーオフ］を選び、

【■】を押します。

4

【▲】【▼】で［5分］／［1分］／［切］を選び、

【■】を押します。
選んだ内容を保持し、
［システム1］メニューに戻ります。

- ここで選んだオートパワーオフの時間は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P35 操作を行うと［1分］に戻ります。
- USB接続している場合や**スライドショー再生** P79 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。

撮影（静止画／動画）について

■ クイックメニューについて　モード：

撮影時の画像サイズ、画質、ホワイトバランス、セルフタイマー、露出補正の段階、液晶モニターの表示のオン／オフ、日付プリントのオン／オフはクイックメニューから操作します。

クイックメニューで設定可能な項目と表示 P66

1

／の各モードから、を押します。

クイックメニューが表示されます。

- クイックメニューを表示させる場合は、長押しする必要はありません。長押しすると、モードセレクトメニューが表示されます。その場合は一度 静止画撮影モード／ 動画撮影モードを選び、再度を押して、クイックメニューを表示させてください。
- クイックメニューの表示は、数秒間放置すると、クイックメニューを終了し、静止画撮影モード／動画撮影モードに戻ります。

2

【▲】で設定したい項目を画面の中央にし、

【▼】でその設定内容を選び、

【▲】：設定項目の選択（移動）と設定内容の決定
【▼】：設定内容の選択

またはシャッターボタンを押します。

選んだ内容を保持し、クイックメニューを終了します。

またはシャッターボタンを押さずに数秒間放置すると、その変更内容を保持し、クイックメニューを終了します。

クイックメニューで設定可能な項目と表示

[静止画モード時]

設定項目	設定内容
画像サイズ（記録画素数） P67	3264×2448（約800万画素）／2592×1944（約504万画素） 2048×1536（約315万画素）／1280×960（約123万画素）
画質（圧縮率） P67	ファイン／ノーマル
ホワイトバランス P70	オート／太陽光 白熱灯／蛍光灯
セルフタイマー P71	オン／オフ
露出補正 P73	±0.0、+0.5、+1.0、+1.5、+2.0 −2.0、−1.5、−1.0、−0.5
液晶モニターの表示 P74	アイコン表示（通常表示）／画像のみ
日付プリント P75	日付プリント オン／日付プリント オフ

[動画モード時]

設定項目	設定内容
画像サイズ（記録画素数） P67	640×480／320×240
画質（圧縮率） P67	ファイン／ノーマル
ホワイトバランス P70	オート／太陽光 白熱灯／蛍光灯
露出補正 P73	±0.0、+0.5、+1.0、+1.5、+2.0 −2.0、−1.5、−1.0、−0.5
液晶モニターの表示 P74	アイコン表示（通常表示）／画像のみ

■ 画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定する

モード：

目的に応じて、画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定できます。

画像サイズ（記録画素数）

○静止画撮影モード時：
3264×2448（約800万画素）
2592×1944（約504万画素）
2048×1536（約315万画素） **初期設定**
1280×960（約123万画素）

○動画画撮影モード時：
640×480 **初期設定**
320×240

画質（圧縮率）

ファイン（低圧縮モード） **初期設定**
ノーマル（標準圧縮モード）

- **ここで選んだ画像サイズ、画質は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P35 操作を行うと画像サイズは[2048×1536]（静止画）、[640×480]（動画）に、画質は[ファイン]に戻ります。**
- **各画像サイズや画質での記録枚数やデータサイズについては、画像記録枚数・時間／データサイズ P113 をご覧ください。**

画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）について

画像サイズを大きくし、画質をファインにすると、データ容量は大きくなり、メモリなどに記録できる画像枚数が少なくなります（画像記録中の時間も長くなります）。
3264×2448／2592×1944／2048×1536はプリントユースで使用する場合、1280×960はメール添付用などインターネット上で使用する場合を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

画像サイズを設定する場合

1

／の各モードから、を押します。
クイックメニューが表示されます。

2

【▲】で画像サイズを画面の中央にし、

【▼】で設定したい画像サイズを選び、

またはシャッターボタンを押します。
選んだ内容を保持し、クイックメニューを終了します。

画質を設定する場合

1

／の各モードから、を押します。
クイックメニューが表示されます。

2

【▲】で画質を画面の中央にし、

【▼】で（ファイン）／（ノーマル）を選び

またはシャッターボタンを押します。
選んだ内容を保持し、クイックメニューを終了します。

■ ホワイトバランスを設定する　モード：

撮影時の光源に合わせてホワイトバランスを設定できます。

：カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。**初期設定**
：太陽光での撮影
：白熱灯下での撮影
：蛍光灯下での撮影

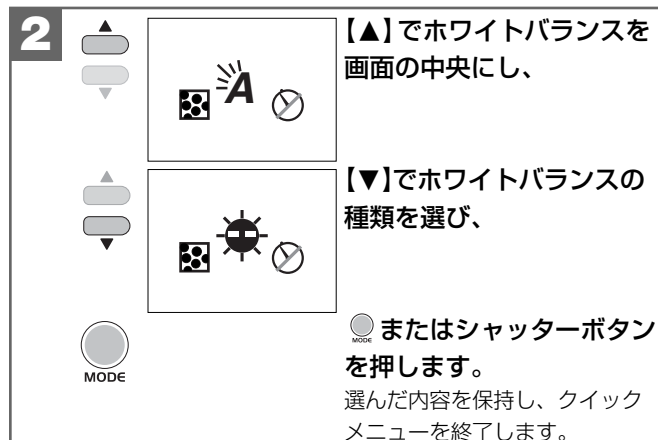
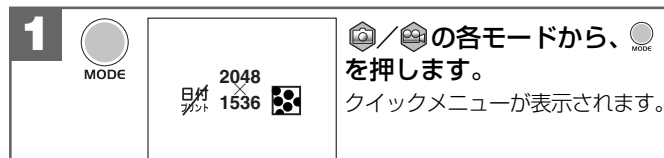
1 ／の各モードから、を押します。

クイックメニューが表示されます。

2 【▲】でホワイトバランスを画面の中央にし、

【▼】でホワイトバランスの種類を選び、

またはシャッターボタンを押します。

選んだ内容を保持し、クイックメニューを終了します。

ここで選んだホワイトバランスは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P35 操作を行うと［オート］に戻ります。

■ セルフタイマーで撮る　モード：

セルフタイマー機能を使用して撮影することができます（タイマー時間10秒）。
セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

1 モードから、を押します。

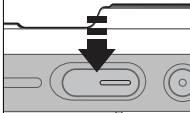
クイックメニューが表示されます。

2 【▲】で（セルフタイマー）を画面の中央にし、

【▼】で（オン）を選び、

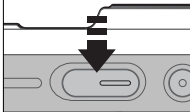
またはシャッターボタンを押します。

選んだ内容を保持し、クイックメニューを終了します。
液晶モニターにが表示されます。

3

シャッターボタン半押し

構図を決め、シャッターボタンを半押しします。

液晶モニターに【　】が表示されます。

4

シャッターボタン全押し

半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

- セルフタイマーランプ（レッド）の点滅と液晶モニターに数字がカウントダウン表示され、セルフタイマー撮影を開始し、10秒後に撮影されます。

- **セルフタイマー撮影を途中で止める場合は、電源をオフにするか、MODEを長押ししてモードセレクトメニューを表示させるか、▶を押して再生モードに切り替えてください。**
- **撮影時の各設定（画像サイズ、画質、ズーム、ホワイトバランス、露出補正、マクロモードなど）はセルフタイマー撮影時も有効です。**
- **セルフタイマーモードは、一度撮影が終わると解除されます。**

■ 露出（明るさ）補正を設定する　モード：

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、露出（明るさ）を補正することができます。

○設定できる露出補正の段階

（単位：EV（Exposure Value、露出量を表す単位））：

−2.0、−1.5、−1.0、−0.5、±0.0、+0.5、+1.5、+2.0

1

MODE

2048 × 1536

／の各モードから、MODEを押します。

クイックメニューが表示されます。

2

EV ±0.0　アイコン表示

【▲】で露出補正を画面の中央にし、

EV +2.0　アイコン表示

【▼】で露出補正の段階を選び、

MODE

MODEまたはシャッターボタンを押します。

選んだ内容を保持し、クイックメニューを終了します。

ここで選んだ露出補正の段階は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P35 **操作を行うと[±0.0]に戻ります。**

■ 液晶モニターの表示を設定する モード：

静止画撮影モード時／動画撮影モード時の液晶モニターの表示を〈通常表示〉 **初期設定** ／〈画像のみ〉に設定することができます。

1 ／の各モードから、を押します。

クイックメニューが表示されます。

2 【▲】で液晶モニターの表示を画面の中央にし、

【▼】で［アイコン表示］／［画像のみ］を選び

またはシャッターボタンを押します。

選んだ内容を保持し、クイックメニューを終了します。

ここで選んだ液晶モニターの表示（撮影モード時）は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P35 操作を行うと［アイコン表示］（通常表示）に戻ります。

■ 日付プリントを設定する モード：

撮影画像に撮影時の日付を焼き付けることができます。

日付プリントの設定を（オン）にして撮影すると、撮影画像のJPEGファイル自体（右下部）に日付が焼き付けられます。プリンタなどの設定でファイルの日付情報を印刷する操作とは異なりますのでご注意ください。

1 ／の各モードから、を押します。

クイックメニューが表示されます。

2 【▲】で日付プリントを画面の中央にし、

【▼】で（オフ）／（オン）を選び、

またはシャッターボタンを押します。

選んだ内容を保持し、クイックメニューを終了します。

- ここで選んだ日付プリントのオン／オフは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P35 操作を行うと（オフ）に戻ります。
- 日付プリントの文字は白色のため、背景が同様の色の場合は、文字が見えにくい場合があります。
- 日付プリントの形式は、文字の色や大きさを設定することはできません。

再生（静止画／動画）について

■ 内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする（コピー to SDカード機能）

内蔵メモリ（16MB）に入っている画像をSDメモリーカードへコピーすることができます。
SDメモリーカードの空き容量が無くなり、内蔵メモリを使用して撮影した場合などで、後で画像をSDメモリーカードにコピーしたいときなどに便利です。

- 本機能は内蔵メモリ内に画像がある場合で、SDメモリーカードを使用（挿入）している場合にのみ有効です。
- 本操作を行うときは、**必ず電池残量を確認してから行ってください**。
  コピー中に電源がオフになると、正しくコピーされず、記録されているデータが破損したり、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。
  電池残量が ▭ の場合は、**新しい電池と交換してから本操作を行うことをおすすめします**。
- 本操作を行うと、内蔵メモリ内にあるすべての画像をメモリーカードにコピーします。コピーする画像を選ぶことはできません。
- 本操作を何回も続けて行うと、SDメモリーカード内には、同じ画像が何枚もコピーされます。

1

MODE

静止画撮影モードから、MODE を長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。

モードセレクトメニューについて P20

2

【▲】【▼】で セットアップモードを選び、

【■】を押します。
［システム1］メニューが表示されます。

3

【▼】で［カードへコピー］を選び、

【■】を押します。

4

【▲】【▼】で［OK］／［キャンセル］を選び、

【■】を押します。

- ［OK］を選ぶと、内蔵メモリ内にあるすべての画像をSDメモリーカードにコピーし、［システム1］メニューに戻ります。
- ［キャンセル］を選ぶとコピーを中止して、［システム1］メニューに戻ります。

SDメモリーカード内の空き容量が足りない場合は、コピー可能な画像のみをコピーして、コピーを途中で終了します。

■ スライドショー再生をする

メモリ内にあるすべての画像を約5秒間隔でスライドショー再生することができます。

1

▶を押して、▶再生モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます。

- 再生モードへはモードセレクトメニューからも切り替えることができます。

2

【■】を押します。

［消去］メニューが表示されます。

3

【▲】で［スライドショー再生］メニューを表示させ、

【■】を押します。

スライドショー再生を開始します。

- 再生中に、【■】または、【▲】【▼】を押すか、シャッターボタンを全押しすると、スライドショー再生を停止します。

- スライドショー再生は、▷再生モードで表示されている次の画像からスライドショー再生を開始します。
- スライドショー再生時の再生間隔を設定することはできません。
- 動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。
- 液晶モニターの表示（〈通常表示〉／〈画像のみ〉）の設定 P24 は、スライドショー再生時も有効です。
- スライドショー再生中は**オートパワーオフ機能** P62 ははたらきません。

消去について

■ フォーマットする

モード：

フォーマット（初期化）とは内蔵メモリまたはSDメモリーカードに画像およびデータを記録できるようにする作業のことです。

- 他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。
- フォーマット（初期化）すると内蔵メモリまたはSDメモリーカード内のデータがすべて消去されますので、内容をよく確かめてから操作してください。一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。
- フォーマットを行うときは、電池残量を確認してから行ってください。フォーマット中に電源がオフになると、正しくフォーマットされず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。

1

静止画撮影モードから、MODEを長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。

モードセレクトメニューについて P20

【▲】【▼】で セットアップモードを選び、

【■】を押します。

［システム1］メニューが表示されます。

3

【▼】で［フォーマット］を選び、

【■】を押します。

- この時点ではまだフォーマットされていません。

【▲】【▼】で［OK］／［キャンセル］を選び、

【■】を押します。

- ［OK］を選ぶと、フォーマットが実行され、［システム1］メニューに戻ります。
- ［キャンセル］を選ぶと［システム1］メニューに戻ります。

パソコン接続編

パソコンと接続して画像ファイルをパソコンに取り込む方法、PCカメラとして使用する方法について説明します。

■ パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続（撮影画像の取り込みなど）する場合には、以下の条件が揃っていることが必要です。
接続する前に必ずご確認ください。

□OS：Microsoft Windows Me/2000/XP 日本語版
□USBインターフェース（1.1仕様）を標準装備している機種
□CD-ROM読み込みドライブを標準装備している機種

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証いたしません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証いたしません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

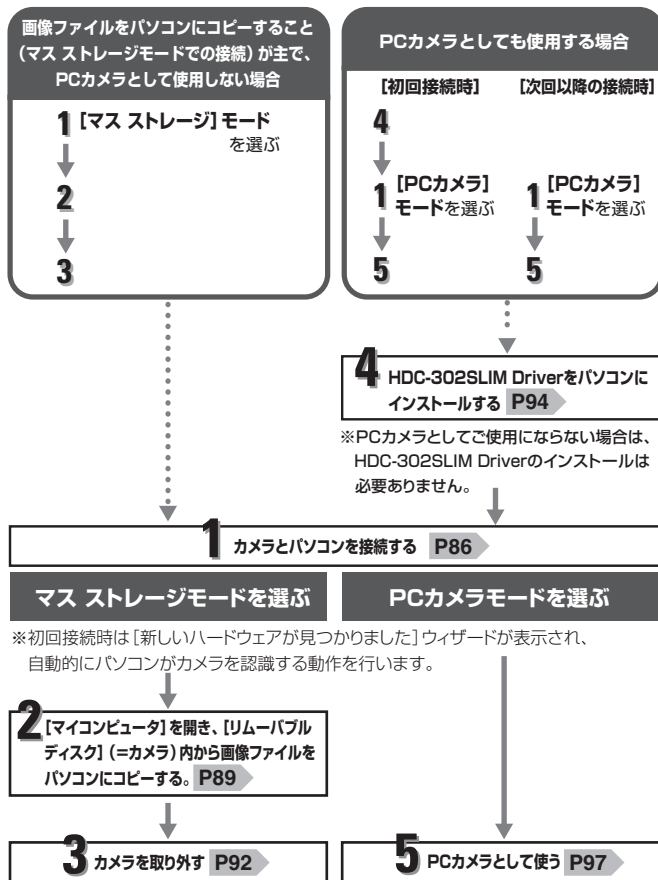
■ パソコン接続モードについて

本機には以下の2種類のパソコン接続モードがあります。

①マス ストレージ（Mass Storage）モード
デジタルカメラから、撮影した画像ファイルをパソコンにコピーする（取り込む）場合や、デジタルカメラをリムーバブルディスク、リーダ／ライタとして使用する場合に選びます。
パソコンには［リムーバブルディスク］として認識されます。

②PCカメラモード
デジタルカメラをPCカメラとして使用する場合に選びます。

■ パソコンと接続する場合の流れ

ご使用の目的に合わせて、操作の手順を確認してください。

1 カメラとパソコンを接続する

- **PCカメラとしてお使いの場合は、**カメラとパソコンを接続する前に、**4 HDC-302SLIM Driverをインストールする** P94 を行う必要があります。
- 画像ファイルをパソコンにコピーすること（マス ストレージ モードでの接続）が主で、**PCカメラとして使用しない場合は、**インストールが自動的に行われますので、**HDC-302SLIM Driverをインストールする必要はありません**。以下の手順に従って、操作してください。

USB接続時のご注意

- 液晶モニターは表示されません。
- USB接続中は**オートパワーオフ機能** P62 ははたらきません。
- 電源はパソコン本体から供給されます。
- コピー（通信）中はUSB／ビデオケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- カメラを取り外すときは、必ず**カメラを取り外すときは** P92 に従って操作してください。

1 カメラの電源をオンにします。

2 MODE 静止画撮影モードから、MODEを長押しして、モードセレクトメニューを表示させます。
モードセレクトメニューについて P20

3

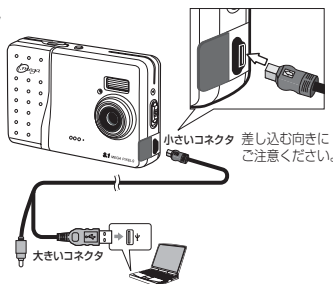
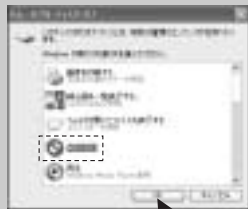
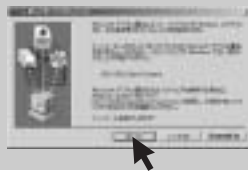
【▲】【▼】でパソコン接続モードを選び、

【■】を押します。
［パソコン接続］メニューが表示されます。

4

【▲】【▼】で
［マス ストレージ］／
［PCカメラ］を選び、

【■】を押します。
液晶モニターに が表示されます。

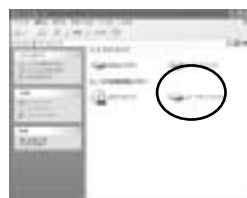
5 USB／ビデオケーブル（付属）の大きいコネクタをパソコン本体のUSBポートへ、小さいコネクタをカメラのUSB端子へしっかりと接続します。

- 初回接続時は「新しいハードウェアが見つかりました」ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、[次へ]をクリックし、画面の指示に従ってください。
「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックします。
- Windows XPをお使いで、[マス ストレージ]を選んだ場合に、OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、[何もしない]を選び、[OK]をクリックします。

- Windows 2000をお使いで、[PCカメラ]を選んだ場合に、「デジタル署名が見つかりませんでした。」画面が表示された場合は、[はい]をクリックします。

4 で[マス ストレージ]を選んだ場合は、**2 画像ファイルをパソコンへコピーする** P89 へ、[PCカメラ]を選んだ場合は、**5 PCカメラとして使う** P97 へ進んでください。

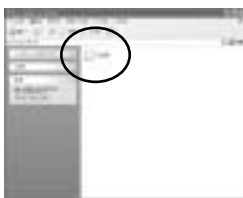
2 画像ファイルをパソコンにコピーする (リーダ/ライタ接続)

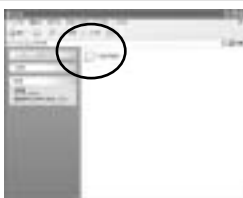
市販の画像編集ソフトなどを使って、画像ファイルを編集する場合は、以下の操作で画像ファイルを任意の場所(マイドキュメント内など)へコピーしてから行うことをおすすめします。

1

1 カメラとパソコンを接続する P86 **に従い、4 で[パソコン接続]メニューから、[マス ストレージ]を選び、5 でカメラとパソコンを接続します。**
液晶モニターが表示オフになり、カメラがリムーバブルディスクとして認識されます。

2

[マイコンピュータ]を開き、[リムーバブルディスク]をダブルクリックして開きます。
- [リムーバブルディスク]が表示されていない場合は、**故障とお考えになる前に** P107 をご覧ください。

3

[DCIM] フォルダをダブルクリックして開きます。

4

[100_HCAM](コピーしたい画像の入っている)フォルダをダブルクリックして開きます。

5

パソコンにコピーする(取り込む)画像ファイルをフォルダ内から選び、任意の場所(マイドキュメント内など)にドラッグ&ドロップしてコピーします。

- 同様に任意の場所(マイコンピュータなど)から任意のデータを、フォルダ(カメラ)内にドラッグ&ドロップしてコピーすることができます。

ドラッグ&ドロップ・・・

マウスを使った操作法の一つで、マウス操作によってデータやファイルの移動を行うこと。
画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままの状態でマウスを移動(ドラッグ)させ、別の場所でマウスのボタンを離す(ドロップ)こと。

- コピー(通信)中はUSB/ビデオケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- フォルダ(カメラ)内にコピーしたデータは**フォーマットする** P81 操作を行うと、すべて消去されてしまいます。操作には十分ご注意ください。
- コピー先に同じファイル名の画像がある場合は、元の画像を上書きしてもよいか確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルは消去されます。

フォルダ名とファイル名のルール

フォルダ名とファイル名は以下のルールに従って、カメラが自動的に作成します。

フォルダ名について:
XXX_HCAM
フォルダの通し番号
(100~999)

ファイル名について:
HIMGYYYY.jpg(動画ファイルは.avi)
ファイルの通し番号
(0001~9999)

フォルダの通し番号はファイルの通し番号が9999を越えた際に一つあがります。

3 カメラを取り外すときは

- カメラを取り外すときは、必ず以下の手順に従って操作してください。この操作を行なわずにカメラを取り外したり、USB／ビデオケーブルを抜くと、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。
- この操作はPCカメラモードで接続している場合は必要ありません。

1 カメラを利用しているアプリケーションをすべて終了します。

2 タスクバー上の[ハードウェアの取り外し]アイコンをクリックし、取り外すドライブを選んで[停止します(取り外します)]をクリックします。

タスクバー

〈Windows XPの場合〉

〈Windows 2000の場合〉

〈Windows Meの場合〉

[停止します(取り外します)]をクリックした際に、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラとパソコンが通信中でないことを確認し、カメラを取り外します。

3 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、[OK]をクリックします。
(Windows XPでは[OK]のクリックは不要です。)

4 カメラを取り外します。

4 HDC-302SLIM Driverをパソコンにインストールする

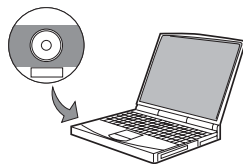
〈デジタルカメラをPCカメラとして使用する場合のみ〉

本機をPCカメラとしても使用する場合は、最初にHDC-302SLIM Driver（for PC CAMERA USE ONLY）をインストールする必要があります。
手順に従って、HDC-302SLIM Driverをパソコンにインストールしてください。

- 画像ファイルをパソコンにコピーすること（マス ストレージモードでの接続）が主で、PCカメラとして使用しない場合は、インストールが自動的に行われますので、この手順は必要ありません。**パソコンと接続する場合の流れ** P85
- ソフトウェアのインストールが完了するまで、カメラをパソコンに接続しないでください。また、他のアプリケーションはすべて終了しておいてください。
- Windows 2000/XPをお使いの場合は、Administrator（管理者制限）でログオンしてください。
- 正しくインストールできた場合は、次回以降の接続時にはこの手順は必要ありません。

1 パソコンを起動し、付属CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

インストールメニューが自動的に表示されます。

- インストールメニューが表示されない場合は、［マイコンピュータ］内の［HDC-302SLIM］内、［Driver］内の「HDC302SLIM(.exe)」をダブルクリックしてください。

2 ［Install HDC-302SLIM Driver (for PC CAMERA USE ONLY)］をクリックします。

3 ［設定言語の選択］画面が表示されたら、表示言語（［日本語］）を選び、［OK］をクリックします。

4 ［Install Shieldウィザード］（ようこそ）画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

5 ［Install Shieldウィザードの完了］（再起動の確認）画面が表示されたら、［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選んで、［完了］をクリックします。

コンピュータが再起動し、インストールが完了します。

Windows XPでは、再起動の確認は表示されません。そのまま［完了］をクリックします。

- インストールが完了したら、**5 PCカメラとして使う** P97 に進んでください。
- HDC-302SLIM Driverをアンインストール(削除)する場合は、**HDC-302SLIM Driverをアンインストール(削除)する** P99 の手順にしたがって操作してください。

5 PCカメラとして使う

本機は、PCカメラモードでパソコンとUSB接続することにより、PCカメラとして使用することができます。

PCカメラとして使用する場合は、カメラとパソコンを接続する前に、4 HDC-302SLIM Driverをインストールする P94 **を行う必要があります。**

〈別途ご準備頂きたいこと〉

本パッケージにはPCカメラ用ソフトウェアは同梱されておりませんので、PCカメラとして使用される場合は、Microsoft NetMeetingやWindows MessengerなどのPCカメラ用ソフトウェアを別途ご準備頂く必要があります。
また、インターネットやLAN接続を通じて、テレビ電話やWEBチャットなどで使用される場合は、モデムなどのネットワーク機器、スピーカやマイクなどのサウンド機器を別途ご準備頂く必要があります。

1

1 カメラとパソコンを接続する P86 **に従い、4 で[パソコン接続] メニューから、[PCカメラ]を選び、5 でカメラとパソコンを接続します。**

液晶モニターが表示オフになります。

- 解像度やフレームレートの設定は、パソコンのソフトウェア側で行ってください。カメラ側では設定できません。
- PCカメラとして映し出された映像を、静止画または動画として保存できるかどうかは、PCカメラ対応ソフトウェアの取扱説明書やヘルプにて確認してください。

■ HDC-302SLIM Driverをアンインストール（削除）する

- アンインストール（削除）は、インストールしたHDC-302SLIM Driverが不要になった場合のみ行ってください。
- カメラとパソコンを接続した状態では行わないでください。
またパソコンのアプリケーションはすべて終了しておいてください。

1

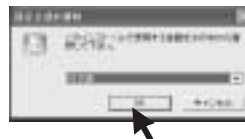
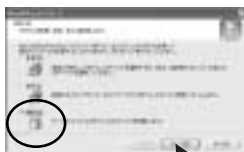
［マイコンピュータ］内の［コントロールパネル］内から［プログラム（アプリケーション）の追加と削除］をダブルクリックします。

2

［HDC-302SLIM］を選んで、［追加（変更）と削除］をクリックします。

3

［設定言語の選択］画面が表示されたら、表示言語（［日本語］）を選び、［OK］をクリックします。

4

[Install Shieldウィザード]（メンテナンス方法の選択）画面が表示されたら、[削除]を選び、[次へ] をクリックします。

5

[ファイル削除の確認] 画面が表示されたら、[OK] をクリックします。

[OK] をクリックすると、アンインストールが実行されますので、操作は慎重に行ってください。

6

[[Install Shieldウィザード]（メンテナンスの完了）画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

付録

■ 故障とお考えになる前に

電池・電源

症状	原因	処置
電源がオンにならない。	●電池が正しく入っていない。	→電池を正しく入れる。 P26
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。 P26
	●内部システムなどの誤動作。	→電池を5秒以上取り外し、もう一度電池を正しく入れてから、電源スイッチ押す。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使用している。	—
	●高解像度、ストロボ撮影を多用している。	—
	●再生モードを多用してる。	—
	●本パッケージに同梱されている電池は、最初に基本操作を確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。	—
電源が途中でオフになる。	●オートパワーオフ機能がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P62
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。 P26
電池の残量表示が正しく表示されない。	●温度が極端に高いまたは低いところで使用している。	—
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。 P26
	●ストロボの充電をしている。（ストロボオートモードに切り替えた直後）	→ストロボの充電が終わるまでお待ちください。

静止画・動画を撮る

症状	原因	処置
液晶モニターに被写体が写らない。	●再生モードになっている。	→ MODE を長押しして、モードセレクトメニューを表示させ、静止画撮影モードに切り替える。P20
	●電源がオフになっている。	→電源をオンにする。P28
	●暗いところで撮影している。	→なるべく明るい場所へ移動して撮影する。
撮影できない	●画像記録中・ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。	→BUSYランプの点灯・点滅が終わってから撮影する。
	●静止画撮影時、動画撮影もしくは再生モードになっている。	→ MODE を長押しして、モードセレクトメニューを表示させ、静止画撮影モードに切り替える。P20
	●動画撮影時、静止画撮影もしくは再生モードになっている。	→ MODE を長押しして、モードセレクトメニューを表示させ、動画撮影モードに切り替える。P20

症状	原因	処置
撮影できない。	●オートパワーオフ機能がはたらき、電源がオフになった。	→もう一度電源をオンにする。 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P62
	●メモリ残量がない。	→画像サイズを小さくする。P67 →内蔵メモリまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P50 か、別のSDメモリーカードと交換する P33 。
	●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。(液晶モニターに 🔒 が表示)	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P34
ストロボ撮影ができない。	●ストロボモードが 🚫 発光禁止モードになっている。	→ストロボモードを A⚡ オートにする。P40
	●マクロモードになっている。	→標準モードに切り替えて P42 、再度ストロボオートモードを選択する。
	●電池残量が少ない場合は、ストロボオートモードを選んでいても、ストロボを発光しない場合があります。	—
	●被写体が明るい。	→本機には強制発光ストロボモードは搭載しておりません。
ストロボ撮影したのに、撮影画像が暗い。	●被写体が遠い。	→ストロボ連動範囲(約1.2m〜約2.0m)で撮影する。P40
ストロボ撮影したら、撮影画像が白くなる。	●ストロボ連動範囲より被写体が近い。	→ストロボ連動範囲(約1.2m〜約2.0m)で撮影する。P40

症状	原因	処置
撮影画像がぼやけている。	●レンズに指がかかっている。	→レンズに指がかからないようにカメラを正しく構える。
	●マクロモードで遠景を撮影している。	→標準モード(約120cm〜∞)に切り替える。P42
	●被写体が近すぎる。	→撮影可能範囲(マクロ時:約17cm〜約22cm、標準時:約120cm〜∞)で撮影する。
	●レンズが汚れている。	→レンズをメンテナンスする。
	●画像ブレ・手ブレ	→⌛画像記録中の表示が終わるまでカメラを固定して撮影する。 →三脚を使うなどして、カメラを固定して撮影する。
画像にしまがはいる。	●電源周波数(ヘルツ)が影響している。	→電源周波数(ヘルツ)を合わせる。P31
画像にノイズがある。	●パソコンの近くや電磁波の強い場所で撮影している。	—
動画撮影時に撮影が途中でストップする。	●撮影に必要なメモリ残量がない。	→内蔵メモリまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P50 か、別のSDメモリーカードと交換する P33 。
静止画/動画が見れるのに撮影できない。	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P26
内蔵フラッシュメモリ(16MB)に記録できない。	●SDメモリーカードが装着されている。	→電源をオフにしてSDメモリーカードを外す。P33

静止画／動画を見る

症状	原因	処置
再生できない。	●再生モードになっていない。	→MODE を長押しまたは押して、モードセレクトメニューを表示させ、▷ 再生モードに切り替える。P20
	●他のデジタルカメラで撮影した画像や、パソコンで名前を変更したり、加工した画像は本機で再生できない場合があります。	—

画像を消去する

症状	原因	処置
消去できない。	●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。（液晶モニターに 🔒 が表示）	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P34
誤って消去してしまった。	●一度消去したファイルは元に戻せません。	—

画像ファイルをパソコンにコピーする

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。（［リムーバブルディスク］が表示されないなど）	●付属のUSB／ビデオケーブルを使用していない。	→付属のUSB／ビデオケーブルを使う。
	●USB／ビデオケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いてもう一度しっかりと接続する。P86 →他のUSBポートに接続する。
	●パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。	→キーボード／マウス以外は取り外す。
	●パソコン接続モードが正しく設定されていない。	→目的に応じてパソコン接続モード［マス ストレージ］／［PCカメラ］を設定する。P84 **［PCカメラ］モードを選んでいるときは、［リムーバブルディスク］は表示されません。**
	●PCカメラとしてお使いの場合で、HDC-302SLIM Driverがインストールされていない。	→PCカメラとしてお使いの場合は、HDC-302SLIM Driverをインストールする必要があります。P94

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。([リムーバブルディスク] が表示されないなど)	●PCカメラとしてお使いの場合で、HDC-302SLIM Driverをインストールする前に、カメラとパソコンを接続したため、デバイスが正しく認識されていない。[デバイスマネージャ] を開き、[その他のデバイス] が表示されていないか確認してください。	→[その他のデバイス] が表示されていたら、認識されなかったデバイス(「?」マーク) を [削除] しパソコンを再起動してから、HDC-302SLIM Driverをインストールする。P94
	●マス ストレージモード用ドライバの動作を妨げている他のドライバまたはカメラがある。[デバイスマネージャ] を開き、[USB(ユニバーサルシリアルバス) コントローラ] を確認してください。	→[Digicam USB Mass Storage] に、黄色い「!」マークが付いているときは、[Digicam USB Mass Storage] を [削除] してから、カメラを取り外し、もう一度接続し直す。P86
	●パソコンのUSB機能が有効になっていない。[デバイスマネージャ] を開き、[USB(ユニバーサルシリアルバス) コントローラ] を確認してください。	→[USB(ユニバーサルシリアルバス) コントローラ] が表示されていないときは、USB機能は無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。 →[USB(ユニバーサルシリアルバス) コントローラ] に黄色い「!」や赤い「×」マークが付いているときは、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。

症状	原因	処置
USB接続してもカメラの電源がオフになる。	●USB/ビデオケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。P86 →他のUSBポートに接続する。
	●カメラとパソコンをUSBハブ経由で接続している。	→USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。
カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。	●通信中にカメラを取り外した。	→内部のデータが破損する恐れがあります。必ずカメラとパソコンが通信していないことを確認してから、カメラを取り外してください。
	●「カメラ取り外す」操作を行わないでカメラを取り外した。	→カメラを取り外すときは P92 に従って操作する。

〈デバイスマネージャ〉

[デバイスマネージャ] は、[マイコンピュータ] から右クリックで [プロパティ] を選ぶか、[コントロールパネル] から [システム] をダブルクリックして、[システムのプロパティ] から開きます。

その他

症状	原因	処置
表示言語が英語になっている。	●[表示言語(Language)]が[English]なっている。	→[表示言語]を[日本語]に切り替える。P60
液晶モニターに黒い点が現れる。または、白や赤、青、緑の点が消えない。	●液晶の性質による現象	→故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。
デジタルズームができない。	●動画撮影モードになっている。	→MODEを長押しして、モードセレクトメニューを表示させ、静止画撮影モードに切り替える。P20
	●マクロモードになっている。	→一度標準モードに切り替えて、デジタルズームを調整してから、マクロモードに切り替える。
カメラの操作ができない。(BUSYランプの点灯が消えないなど)	●内部システムやメモリーカードなどの誤動作	→電池を取り外し、しばらく放置してから電池を入れ直す。 →SDメモリーカードをカメラから取り出し、もう一度しっかりと入れる。P33 →別のSDメモリーカードと交換し、確認する。P33 →お買い上げの販売店へご相談ください。
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P26
液晶モニターが突然オフになる。	●オートパワーオフ機能がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P62
	●ストロボを充電している。	→ストロボの充電中は液晶モニターは表示されません。

警告表示など

表示	原因	処置
(カードロックアイコン)	●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。
メモリ残量がありません	●内蔵メモリまたはSDメモリーカードのメモリ残量がない。	→画像サイズを小さくする。P67 →内蔵メモリまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P50 か、別のSDメモリーカードと交換する P33 。
画像がありません	●再生できる画像ファイルが入っていない。	→本機で撮影する。

付録

故障とお考えになる前に

■ 仕様

項目		仕様
有効画素数		約315万画素
撮像素子		1/2インチCMOSイメージセンサー (総画素数：約316万画素)
記録媒体		SDメモリーカード（32/64/128/256/512MB）(※1)、内蔵16MBフラッシュメモリ(※2)
静止画	記録画像ファイルフォーマット	JPEG準拠（DCF1.0、EXIF2.2準拠）
	記録画素数（※3）	3264×2448ピクセル(約800万画素) 2592×1944ピクセル(約504万画素) 2048×1536ピクセル(約315万画素) 1280×960ピクセル(約123万画素)
	JPEG圧縮率	ファイン(低圧縮(1/6)モード) ノーマル(標準圧縮(1/16)モード)
動画	記録画像ファイルフォーマット	AVI(Motion JPEG、音声なし)
	記録画素数	640×480ピクセル／320×240ピクセル
	フレームレート	30フレーム/秒
	圧縮率	ファイン(低圧縮モード) ノーマル(標準圧縮モード)
PCカメラ(USB接続)(※4)		640/480：10〜15フレーム/秒 320/240：20〜30フレーム/秒
レンズ	構成	4群4枚(非球面レンズ2枚)
	焦点距離	f=8.34mm(35mmフィルム換算：約44mm)
	F値(最大値)	F3.0
焦点調節		固定焦点方式
ズーム		デジタル4倍ズーム
液晶モニター		2.0型低温ポリシリコン(LTPS) TFTカラー液晶 約15.4万画素(640×240ピクセル)
撮影可能範囲		標準：約120cm〜∞、マクロ：約17cm〜約22cm
シャッター		電子シャッター、1/4〜1/2000秒
撮像感度		ISO100相当
測光方式		中央部重点平均測光(64ポイント測光)
露出	制御方式	プログラムAE
	補正	−2.0EV〜+2.0EV(0.5EVステップ)
ホワイトバランス		オート／プリセット(太陽光／白熱灯／蛍光灯)
ストロボ	連動範囲(推奨)	約1.2m〜約2.0m
	発光モード	オート／発光禁止
セルフタイマー		約10秒
撮影モード		シングル(通常)撮影、動画撮影
再生モード		シングル(通常)再生、インデックス(9分割)再生、スライドショー再生、動画再生
オートパワーオフ		1分間／5分間／切
インターフェース		USB端子(USB(1.1仕様)、ビデオ出力)
電源		単4形乾電池2本(アルカリ乾電池／ニッケル水素電池(別売))、USB接続時：パソコンより供給

項目	仕様
外形寸法	幅86×奥行22×高さ56mm(突起部除く)
質量	約85g(電池、付属品除く)
使用条件	0℃〜40℃、湿度90%以下(結露しないこと)
付属品	カメラポーチ、ネックストラップ、専用USB／ビデオケーブル、インストール用CD-ROM(PCカメラ専用)、単4形アルカリ乾電池2本、クリーナー(ペット型)

（※1）SDメモリーカードは別売です。(株)アイ・オー・データ機器、(株)ハギワラシスコム、(株)アドテックのSDメモリーカードを推奨します。
（※2）内蔵フラッシュメモリは一部プログラムファイルが格納されているため、記憶可能領域は約11MBです。
（※3）3264×2448／2592×1944ピクセルモードは補間処理によるものです。
（※4）パソコンの動作環境などにより、少ない数値になる場合があります。

画像記録枚数・時間／データサイズ（※5）

記録画素数（ピクセル）	JPEG圧縮率	1コマのデータサイズ	内蔵16MBフラッシュメモリ	SDメモリーカード32MB（別売）
3264×2448（約800万画素）	ファイン	約1,850KB	約6枚	約32枚
	ノーマル	約950KB	約12枚	約64枚
2592×1944（約504万画素）	ファイン	約1,300KB	約9枚	約47枚
	ノーマル	約590KB	約19枚	約101枚
2048×1536（315万画素）	ファイン	約930KB	約12枚	約64枚
	ノーマル	約375KB	約31枚	約161枚
1280×960（約123万画素）	ファイン	約373KB	約30枚	約160枚
	ノーマル	約155KB	約74枚	約394枚
640×480【動画】	ファイン	約625KB/秒	約18秒	約98秒
	ノーマル	約385KB/秒	約29秒	約157秒
320×240【動画】	ファイン	約295KB/秒	約38秒	約204秒
	ノーマル	約150KB/秒	約75秒	約398秒

（※5）画像記録枚数・時間及びデータサイズはあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

電池寿命の目安（※6）

使用電池	撮影可能枚数 CIPA（※7）	再生時間（※8）
単4形アルカリ乾電池LR03（付属)）	約40枚	約60分

（※6）標準環境において、液晶モニターオン、SDメモリーカード使用、未使用電池を使用し、以下の条件で撮影・再生した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証撮影枚数・時間ではありません。ご使用の状況や環境によって少ない数値になる場合があります。
（※7）CIPA(カメラ映像機器工業会)規格による撮影条件
- 30秒間隔でストロボを2回に1回発光
- 10枚撮影ごとに電源をオフにし、30秒間放置

（※8）約3秒１コマを連続で再生した場合

メ　モ

日立家電品についてのご相談や修理は お買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は
下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87
（受付時間）365日／9:00〜19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120−8802−28
FAX 03−3260−9739
（受付時間）9:00〜17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

株式会社日立リビングサプライ：ホームページアドレス

http://www.hitachi-ls.co.jp/